

公益社団法人岐阜病院 広報誌

まごころ

「まごころ」は、公益社団法人岐阜病院の広報誌です。



29号

病院理念

私たちは、真心をこめて医療福祉サービスを提供します。

第

号

自己点検してみれば

公益社団法人 岐阜病院

理事長・院長 鈴木 祐一郎



日々振り返ってみれば、内心で反省や後悔することばかりである——というのは一応の建前で、なかなか自己肯定の畏から逃れられないのが人と組織の常である。

病院という組織もご多分に漏れず、ずっと以前からこうやってきたのだから、特にそれで不都合もなかったのだから、と自らに言い訳をして、舵を切ることなく冰山に衝突するタイタニック号となりがちである。あるいは逆の喩えをすれば、小手先のハンドル操作に頼る暴走車と言っても良い。

だからこそ外部からの視線が入る必要があるのだ。私たちの病院にも毎年、保健所の立ち入り検査、精神科病院に対する実地指導、実地審査が入る。厚生局による適時調査、個別指導もあるし、さらに税務署や公益法人監査も当院には入る。これらは否も応もなく入ってくる外部の目だが、我々が望めば医療機能評価機構の審査も受けることができる。

思えば私が精神科医となった40年近く前には当たり前だったことで、今では全くそうではないという事がたくさんある。40年前には精神科病院はもっと閉鎖的であった。現在も医療に対して、特に精神科医療に対して注がれる市民の厳しい目があるが、外部から様々な人や機関が入ってくることによって、変わらざるを得なかったという面もある。しかし医療や福祉サービスの基本的概念が当院でも大きく変わってきたのは、むしろそういった厳しく安心・安全を求める社会に適応すべく、ゆっくりとではあるが自ら変化してきたというのが適切だろう。

そこで自己点検という考え方が登場する。とは言っても、自己を客観的に見て正しく評価することの困難さは言うまでもない。自らを語ることは他人の視線で自らを眺めることであり、自らの危うさを意識することである。自己点検の作業とは、その危うさを意識しつつも後退に陥ることなく、らせん状にはあっても少しずつ進んでいくことでなければならない。

「他人の身に自らを置くとどうなるかを

想像することは人間性の核である。」

(イアン・マキューアン)

訪問看護ステーション はな



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

当ステーションは今年で開設6年目を迎え、登録者数は290名を超え、現在1ヶ月あたりの訪問件数はのべ650件であり、男性3名と女性7名の計10名のスタッフで日々訪問活動を展開し、事務員が1名おります。活動範囲として基本片道16km圏内のエリアで訪問し、約5割の方が週1回の訪問です。

当ステーションのポリシーとして、利用者さまニーズを把握し、生活の視点で物事を考え、その人らしい豊かで多様な生活が実現出来るよう、スタッフ全員が「在宅生活のケアコーディネーター」として日々活動しております。

精神科訪問看護とは、病院を退院された後や外来通院をされている方が、安心して自宅や住み慣れた地域社会の中で治療を継続しながら生活する事が出来るよう、経験豊富な看護師や作業療法士、精神保健福祉士などの専門職がご自宅に伺ってさまざまな相談や日常生活への支援などを行う制度です。

利用者さまやご家族の抱える生活や療養を困難にさせてしまっている事や日常生活の中で起こるさまざまな問題に対して共に考え、通院が継続出来るよう必要な支援を行います。また、必要に応じて他職種との連絡や相談を行い、身体とこころの両面からのサポートを提供します。

訪問看護ステーション 管理者
馬淵 正務

訪問看護の対象者

- ・病気に対する不安を持っている方
- ・受診が途絶えたり、服薬が継続出来ず入退院を繰り返す方
- ・病気と付き合いながら、地域での生活を維持しようとしている方
- ・日常生活への様々な不安を抱える方とご家族…など

訪問看護を利用するには

- ・「訪問看護」は、医師の指示のもとで提供されるサービスです。利用を希望される方は、診察の際に主治医にご相談下さい。
- ・「訪問看護」がその方に必要と判断された場合に、訪問看護スタッフが利用目的や内容などについてじっくり説明し「訪問看護」が開始されます。

訪問看護の目的

- ・再発予防、服薬支援
- ・生活リズムの確立支援と自立支援
- ・社会資源の活用支援、社会復帰に向けてのサポート…など

訪問看護の内容

- ・バイタル測定 ・お薬管理(服薬援助、副作用観察)
- ・症状管理(症状観察、異常の早期発見、身体合併症の配慮)
- ・日常生活の助言(食事、睡眠、清潔、対人関係向上など)
- ・主治医など多職種への連絡、相談
- ・お薬の副作用への対応や不安に対するご相談
- ・ご家族からの相談への助言や援助、福祉サービスなどの情報提供
- ・日中活動に向けた助言や援助…など

○当ステーションは昨年の7月に本館の1階に移転しました。受診の際などお近くにお寄りの際は、是非お立ち寄り下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。



外来駐車場整備工事完了のお知らせ

7月より行ってきました外来駐車場整備工事が無事完了致しました。

工事期間中は、騒音・振動・工事車両の通行など、患者様をはじめ来院される皆様、近隣の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。ご協力ありがとうございました。

今後とも、皆さまに気持ち良くご利用いただける施設管理に努めてまいります。



名鉄岐阜駅からお越しの場合

■ 岐阜バスターミナル Dのりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 19分「日野橋」下車 徒歩10分
日野市橋線(日野西行) 21分「日野舟伏」下車 徒歩5分

JR岐阜駅からお越しの場合

■ JR岐阜駅 14番のりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 17分「日野橋」下車 徒歩10分
日野市橋線(日野西行) 19分「日野舟伏」下車 徒歩5分



■ 外来担当表

	月	火	水	木	金
一診	淡路	石井	安奈	淡路	安奈
二診	初診	初診	初診	初診	初診
三診	宮崎	勝	吉田	深尾(希)	勝
四診	伊藤	吉田	南谷	南谷	柳澤
五診	平野	平野	柳澤	前田	伊藤
六診	前田	鈴木院長	山崎	永田	山田
七診					鈴木(睦)
八診					
午後診療 (再診のみ) 13:00~15:00	宮崎 利重 本間	須藤			柳澤 本間

公益社団法人 岐阜病院 広報誌まごころ

令和2年1月1日発行
〒500-8211
岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号
☎058-245-8171
☎058-246-6824
<http://www.shadan-gifu.or.jp>

初診ご予約

☎058-259-3366

予約受付時間：平日 9時～17時

※受診当日の初診ご予約は出来ません。お急ぎ時はご相談ください。

編集 後記

明けましておめでとうございます。「令和」になって初めての新年を迎え、皆様は何を目標に掲げられたのでしょうか。更なる飛躍の年となるよう、一層の努力を重ねていきたいものです。本年もどうぞよろしくお願いたします。

広報委員